

## 望月は、川内 10 万の避難訓練をやってみろ 九電は図面もなしに「安全対策は終了」?



▲望月・原子力防災担当大臣の川内オフサイトセンター訪問に抗議(1/19)

望月大臣の川内オフサイトセンターと県庁への訪問に対し、抗議行動が行われました。センター前に陣取ったのは約 20 人。「ずさんな避難計画のままで、川内原発の再稼働はありえない」、と訴えました。

### ●原発がなければ、避難は必要ない

望月大臣はその後、久見崎の「緊急時一時避難施設」を見学、県庁までの間、避難経路をたどってみたとのこと。しかし発言はすべて文章の棒読み。記者の質問に、まともに答えられない状態だったとのこと。「本気度」と「能力」が疑われます。

「避難計画を充実する」とのことですが、原発がなければ事故はなく、避難は必要ありません。一番の防災計画は、原発を無くすこと。「充実」と言うなら、薩摩川内市民 10 万人の避

難訓練で、実際に何が起こるかやってみればいい。福島と同じ混乱が起こること必定です。

### ●図面もないのに、対策工事はやっている?

「川内原発の再稼働は 4 月以降」という報道がありました(『南日本』1/23)。九電の工事計画書(図面)などの提出が、ズルズル遅れているからです。ところが九電は、安全対策の工事は進めている、と言ってきました。

図面はない、規制委員会の認可もない。それなのに工事が進んでいるというのは、考えられません。実際にはやっていないか、ずさんな工事か、どちらかです。「安全」を保証するものは何一つありません。

九電に真相をはきださせましょう。九電に各自治体で、「安全説明会」を開かせましょう。

★裏面の署名用紙に署名、集約先へ郵送を